



須恵町議会議長 松山力弥

謹賀



新年



須恵町 町長
立松 秀一

須恵町議会は、今後この条例に沿った活動を行い、町政の進展と町民の皆さまの福祉向上に寄与していきたいと考えております。

かにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は、議会運営に格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しく、少子高齢化による地域経済への影響、インフラの老朽化と財政難、環境問題と持続可能なまちづくり、自然災害への備えと防災対策など、実施すべき課題が山積しております。こうした中、町議会は、政策形成や多様な町民の皆さまの意見の集約・反映、利害の調整を通じて、意思決定機関として、また執行機関の監視・評価機関としてその役割を果たしていきたいと思います。

そのためにも、議会改革を進めることが必要です。当議会といたしましては、昨年3月定例議会において「須恵町議会基本条例」の制定を議員発議し、可決後、令和7年4月1日に施行いたしました。この条例は、議会の最高規範といえる条例で、議会の活性化と充実強化など、議会の在り方を町民の皆さんに宣言するものであります。

「町民の皆さま目線の活動を第一に」
町民の皆さま、新年明けましておめで
とうございます。須恵町議会を代表いた
しまして、謹んで新年のごあいさつを申
し上げます。

を合わせて実現するものです。少子化対策においては、福岡県の創設した事業を活用し、令和7年9月分から、第3子以降の未満児（0歳～2歳児）の保育料を無償化としています。これは、多子世帯の負担を大きく軽減するものです。さらに、育児休業中の家庭のお子さんの継続利用を可能とする「育児休業退園制度の廃止」を実現し、子育て世帯の不安や負担の軽減に努めてまいりました。

教育の面においては、須恵町の未来を担う子どもたちの豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するため、令和5年度より段階的に、学校と地域の連携・協働による部活動改革へ取り組んでいます。本年は、国が示す部活動の「改革推進期間」から「改革

新年度になりました。この間、町民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととさまであります。心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、まちづくり全般にわたり、町民の皆さま、議会、行政区、各種団体、そして事業者の皆さまの温かいご支援と深いご理解、ご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は将来にわたり「住んで良かった」と思える須恵町を築くため、喫緊の課題への対応と未来を見据えた基盤づくりに、職員一同、全力で取り組んでまいりました。特に力を注いだのは、安心して子どもを産み育てられる環境づくりです。町長就任以来、最重要課題として取り組んでまいりました「子ども医療費助成制度」につきましては、本年4月より、助成対象を高校生世代まで拡充いたします。これは、子育て世帯への経済的な支援を強化し、町民の皆さまにとって望ましい保健医療サービスを提供するために、近隣町と時期

日本経済の長期低迷は国民の政治への不信感へと繋がり、昨年7月の参議院選挙で与党は過半数割れし、衆参両院で少數与党となり、多党制の状況に進みつつあります。

政局にも大きな影響を及ぼしました。昨年10月に衆参両議院は、本会議で首相指名選挙を行い、憲政史上初めての女性首相が誕生しました。まずは、喫緊の課題である経済対策(物価高騰への対応、賃上げと経済成長、少子高齢化と社会保障)に対し期待するものです。

しかし、減税対策として掲げられているガソリン減税(暫定税率の廃止)は、消費者の一人としては、ガソリン代が下がることはありがたいことですが、道路整備の財源である暫定税率廃止が町の道路

について、昨年は二つの団体（小中学校PTA代表者の皆さま、分館主事の会の皆さま）とワークショップ方式の意見交換会という形で開催しました。参加者の皆さまからのご意見などを、議会活動や町づくりに反映させていきたいと考えております。そしてさらなる議会の活性化に向け、その運営に奮闘していきたいと思っております。

ミユニティイ拠点施設を目指します。一方、昨年は持続可能なまちづくりの核となる「立地適正化計画」の策定を本格的にスタートさせ、将来を見据えた「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの骨格を描き始めました。本年は、昨年の成果を礎とし、次の施策を重点的に推進してまいります。

まず、持続可能なまちを支える重要なインフラ整備を力強く進めるため、ごみ処理施設の令和10年3月の完成を目指し、建設に向けた取り組みを引き続き行なってまいります。また、老朽化が進むし尿処理施設の建て替えについても、計画を具体化させ、将来にわたり安定した生活基盤を維持してまいります。

ても一部の部活動を対象に休日の活動を地域クラブ活動として本格的にスタートします。今後は、教員や保護者の負担へ配慮しつつ、持続可能な活動環境を構築しながら展開してまいります。教育環境の整備においては、熱中症対策として須恵第一小学校体育館の空調設置工事を含む長寿命化改良工事、教室不足に対応するための須恵第三小学校の増築工事などを計画的に実施することで、児童生徒が安全で快適に学べるよう努めます。また食育の面においては、栄養バランスと安全面に配慮し現在中学校で行なっている選択制のランチサービスから、全生徒を対象とした弁当方式の給食への変更を、令和8年度2学期の開始に向けて計画しております。

さらに令和8年度以降は、子どもたちの体験活動をより豊かにするため、旧須恵区公民館を宿泊利用が可能な施設にリノベーションし、学年や世代を超えて「学び、交流し、つながる」新しい地域のコ

八年新春
須恵町議會議長
松山力弥

令和八年新春
須恵町 町長
平松秀一

整備補助金にどう影響されるか危惧されます。